ハイブリット式集塵アダプター

トルネードアルファ

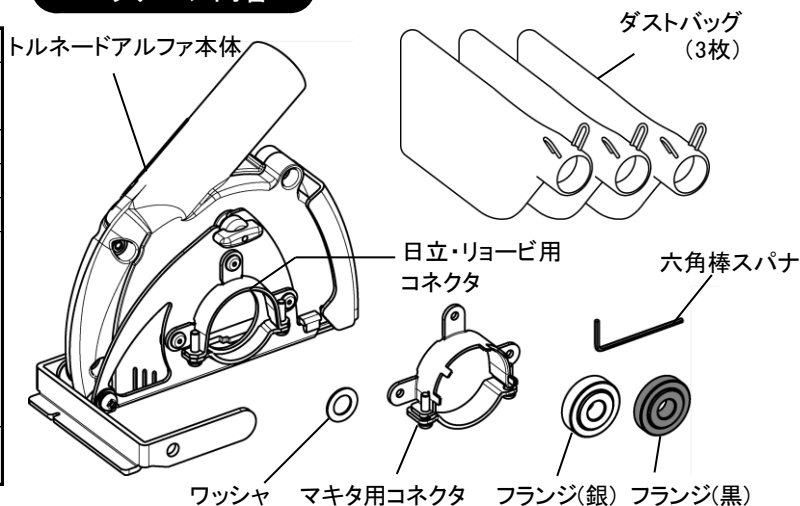
NK-105A 取扱説明書

⚠ 警　告

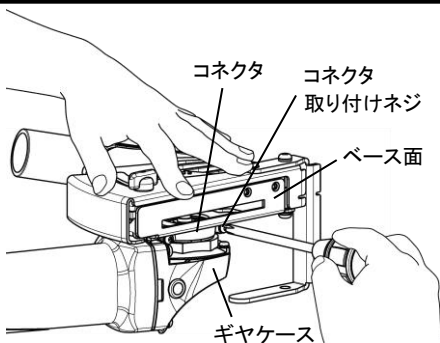
- ■ ご使用前に、対応機種および対応刃物をよくお確かめください。
- ■ ご使用前に、本製品、ディスクグラインダ、刃物の取扱説明書を必ずお読みください。
- ■ 作業中は保護メガネ、防塵マスク、保護帽、安全靴、皮手袋等の保護具を着用してください。
- ■ 本製品がディスクグラインダにゆるみ等無く確実に装着されていることをご確認ください。
- ■ 本製品取付け後、内部で刃物の接触が無いことをご確認ください。
- ■ 切断時には連続使用を避け、刃物にかかる負担を最小限に抑えてください。
- ■ 本製品に、ガソリン、シンナー、石油、灯油類等を付着させないでください。
- ■ 本製品に何らかの理由で損傷があった場合には、直ちに使用を中止してください。
- ■ カッター装着時、カッターが内部のゴム部品と強く接触する場合には、ディスクグラインダの装着状態を再確認してください。
  接触状態が改善しない場合、ご使用をお止めください。
- ■ 本製品は保護カバーではありません。何らかの理由で本体に損傷があった場合には、直ちに使用を中止してください。

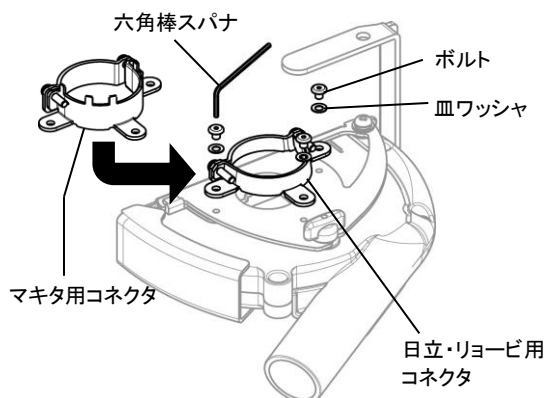
仕　様

型　名	NK-105A
対応カッター	外径105×内径20×刃厚1.5～2.2 ダイヤモンドカッター
対応被削材	コンクリート、ブロック、レンガ等
切込深さ	5～23㎜
質　量	620ｇ（本体）
対応グラインダー （2015.1月時点のカタログ記載機種）	日立工機：G10シリーズ(G10B2を除く) /PDA-100,PDH-100シリーズ マキタ　：9533/GA403シリーズ(充電式を除く) リョービ　：100mmディスクグラインダシリーズ ボッシュ　：GWS5/6/7/8-100シリーズ※ ※別売の専用コネクタ NK-CNT(B100)が必要です。
ダストバッグ 粉塵廃棄目安	約3m切断毎

パッケージ内容

ディスクグラインダへの取り付け方

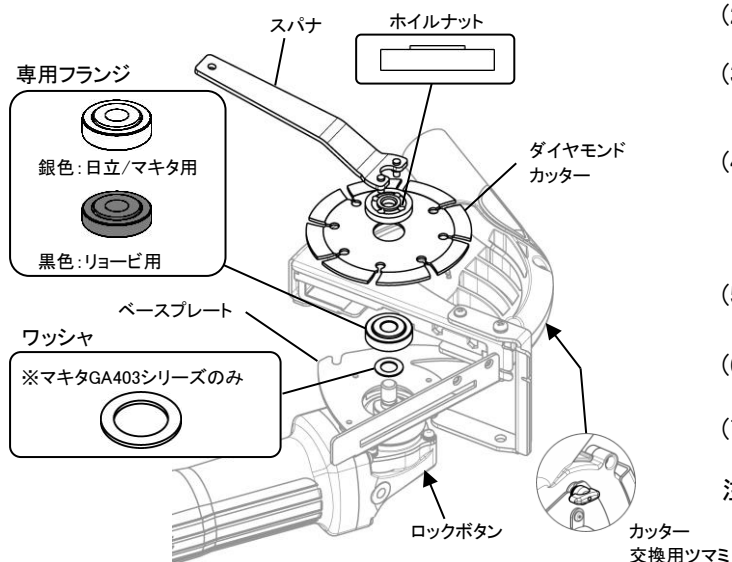
⚠ 警　告

本製品の取り付けは、使用するディスクグラインダのスイッチを必ず切り、さし込みプラグを電源から抜いた後、確実に工具が停止していることを確認してから行なってください。

(1) ディスクグラインダに取り付けられているホイルガードを取り外す。
(2) コネクタ取り付けネジ(2本)を緩め、開放状態にする。
(3) 本体を上から押さえながら、ディスクグラインダのホイルガード取付部にコネクタを取り付ける。
(4) ディスクグラインダのギヤケース部がベース面よりも出張らない様適切な角度に調整した上でコネクタ取り付けネジ(2本)を均等に締め付けて固定する。

注意：取り付け後、ディスクグラインダに対し傾きや浮きが無いことを確認してください。またガタつきやゆるみがないことを確認してください。

マキタ製ディスクグラインダをお使いの場合は、出荷時に装着されている日立・リョービ用コネクタを、本体に付属のマキタ用コネクタに交換して下さい。

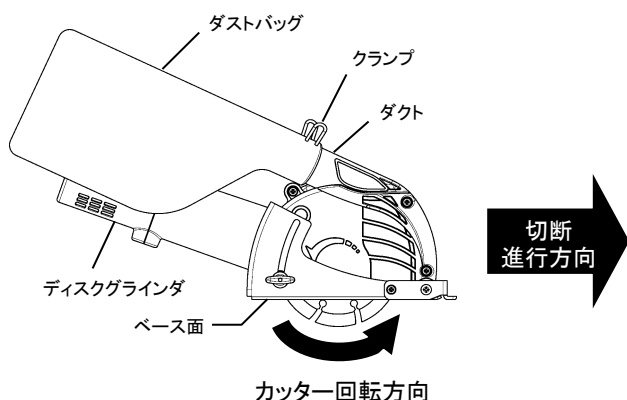
【交換手順】
(1) 付属の六角棒スパナを用いて、ボルトおよび皿ワッシャ(各3箇所)を緩め、コネクタを本体から取り外す。
(2) マキタ用コネクタを、(1)で緩めたボルトと皿ワッシャで固定する。

裏面へ続く

ダイヤモンドカッターの取り付け方

(1) カッター交換用ツマミを緩めベースプレートを引き出す。
(2) マキタGA403シリーズ使用の場合のみ、付属のワッシャをスピンドルにセットする。
(3) 付属の専用フランジをスピンドルにセットする。
日立工機・マキタ製ディスクグラインダ：銀色フランジ
リョービ製 ディスクグラインダ：黒色フランジ
(4) ダイヤモンドカッターをフランジ上にセットし、ディスクグラインダに付属のホイルナットをスピンドルに装着する。
※フランジはカッター内径に合った側を使用すること。
※ホイルナットは、つばを上向きにして装着すること。
(5) ロックボタンを押してスピンドルを固定し、ディスクグラインダに付属のスパナでホイルナットを十分に締め付ける。
(6) ベースプレートを元の位置に戻し、カッター交換用ツマミを十分に締め付ける。
(7) ダイヤモンドカッターを軽く回せることを確認する。

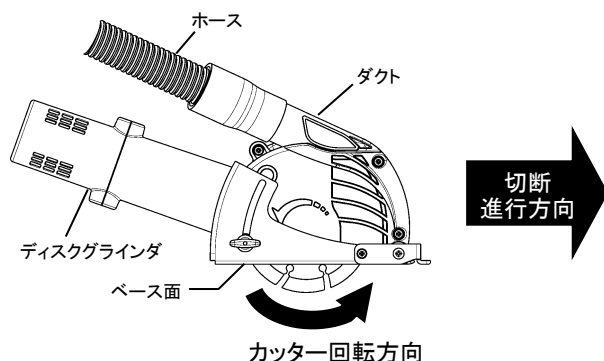
注意：ダイヤモンドカッターがカバー内部と接触する場合には、ディスクグラインダの装着状態を再確認してください。

切断方法（自己集塵モードの場合）

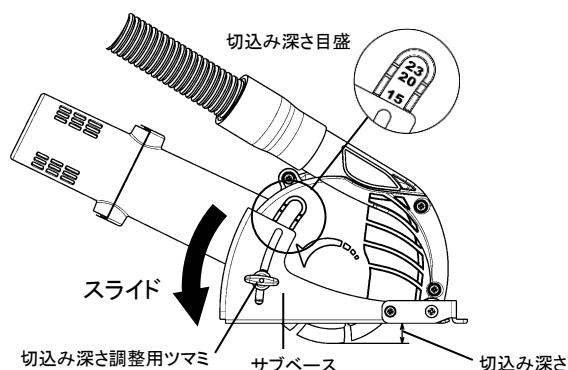
切断
進行方向

(1) 付属のダストバッグのクランプを開き、ダクトの奥まで差込む。
(2) ベース面を被削材に密着させながら、グラインダを<u>前方へ押し進めて</u>切断を行なう。（<u>引き切りは行なわないでください</u>）
(3) 目安として3mほど切断したら、ダストバッグのファスナーを開き、内部に溜まった粉塵を廃棄する。

注意1：カッターの回転方向と切断進行方向が左図の状態である事を確認してください。方向を誤ると集塵効果が得られません。
注意2：以下の場合には集塵能力が低下します。
① 薄材切断の場合。（カッターが材料を突き抜ける場合。）
② 切味の落ちたカッターを使用した場合。
③ 本体底面と被削材との間に隙間が生じた場合。
④ カバー内部のパット類が過剰に摩耗した場合。
⑤ ダストバッグ内部に粉塵が過剰に堆積した場合、または劣化した場合。
注意3：作業前に、ダストバッグのファスナーが確実に閉まっていることを確認してください。
注意4：ダストバッグは洗濯しないでください。

切断方法（強制集塵モードの場合）

切断
進行方向

(1) お手持ちの集塵機のホースをダクトに接続する。
(2) 集塵機の電源を入れ、吸引を開始させる。
(3) ベース面を被削材に密着させながら、グラインダを<u>前方へ押し進めて</u>切断を行なう。（<u>引き切りは行なわないでください</u>）

注意1：カッターの回転方向と切断進行方向が左図の状態である事を確認してください。方向を誤ると集塵効果が得られません。
注意2：ダクト径はφ 34です。集塵機によってはそのまま接続が出来ない場合がありますので、必要に応じて集塵機に付属のアダプタ等をご使用ください。

切込み深さの調整方法

(1) 切込み深さ調整用ツマミを緩める。
(2) サブベースを切込み深さ目盛に合わせてスライドさせる。
(3) 切込み深さ調整用ツマミを十分に締め付ける。

注意1：切込み深さを浅くした場合、自己集塵は出来ません。必ず集塵機を併用してください。
注意2：切込み深さ目盛はあくまで目安です。カッターが磨耗した場合などはこの限りではありません。

N400464